

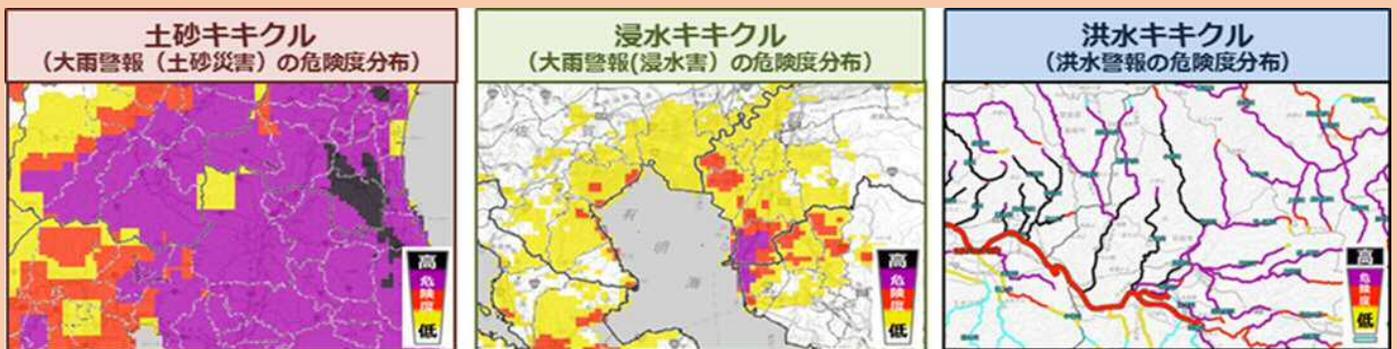
防災対策シリーズ連載 『備え』 ～ vol.36～

「キキクル」

「キキクル」とは、大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報で、気象庁のホームページで公開されています。

テレビやラジオなどの気象情報で注意報や警報が発表されるなど、大雨による災害が発生するおそれのあるときや、急に激しい雨が降ったときは、「キキクル」のページにアクセスし、最新の情報を入手しましょう。

大雨による土砂災害の危険度は「土砂キキクル」、短時間の強雨による浸水害の危険度は「浸水キキクル」、河川の洪水災害の危険度は「洪水キキクル」で、確認することができます。



「キキクル」は気象庁ホームページ「キキクル(危険度分布)」からご覧いただけます。

気象庁と民間事業者が連携して、「キキクル」の情報をより迅速にお届けするために「キキクル プッシュ型通知サービス」を提供しています。あらかじめ登録しておいた地域で土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度が高まった場合や警報などが発表された場合にスマートフォンなどに自動で通知されるので、いち早く適切なタイミングで避難することができます。

「キキクル」の通知サービスは、次の5事業者が無料で提供しています。



「キキクル」や「通知サービス」を活用し、いざというときの避難や防災行動の判断に役立てましょう。

〈防災士 荻野勝也〉